

## ～ろう・難聴児は音楽の授業を楽しむには～

### ○はじめに

講義の中で、様々な重度の障害児の学校生活での様子を見て学んできた中で、ろう・難聴の子どもたちはどんな音楽の授業を受けているのか、どんな手立て、工夫があれば楽しく学習することができるのか知りたいと思い、この問いを立てた。

### ○そもそも、音楽の授業のことをどう思っている？

- ・リコーダーはきれいに音が出ているのか分からない。
- ・周りの視線が気になって楽しめない。
- ・正しい音程で歌えないから歌は嫌いだ。



このように、音楽の授業に対して前向きになれない児童も多いようだ。しかし、音楽そのものは好きだけど、うまくできないと周りから変に見られる等、授業を楽しんでいると思えないという児童の意見もある。

### ○歌うこと

聴覚を活用する児童の場合、歌をいかに聴きやすいものにするかが重要である。いろいろな音が混ざっていることが聴き取りにくさの原因になることから、音の揺れが少ないものや伴奏のない音源、なるべく雑音をなくしたものを別で作成することで、まず歌を聴くことへのハードルをさげることができる。

### ○鑑賞

鑑賞の際には、必ず映像付きのものを使用し、視覚、聴覚問わず感じたことや思ったことを共有できるような環境を作ることで、児童も自分なりに鑑賞を行うことができるようだ。内容について事前にある程度伝えておくこともスムーズな鑑賞に有効である。

### ○まとめ

このように、少し工夫した方法や音源、教材を使うことで、児童が参加しやすい音楽の授業に近づけることができると分かった。聞こえにくさや聞こえ方が一人一人異なっていることを理解し、その子どもに合った支援をすることが大切であると考えた。今回はろう学校での音楽の授業について実践例を紹介したが、盲ろうの児童であれば、例えば身近にあるものでつくった手作りの楽器を使って音を奏でる活動も楽しむことができると思う。ペットボトルに石やビーズを入れてみたり、マジックテープや空き缶、空き瓶等、触覚を使って音が鳴る様子を確認したりする活動は、リコーダーなどを苦手とする子どもたちでも楽しく参加できると思う。鑑賞で感じた感想に間違いはないのだということや、必ずしも正しい音で演奏しなければならないわけではないということや、児童に分かってもらいな

がら、自分のペースで楽しく学べる音楽の授業をつくるべきだと考える。

○参考文献

For hearts 「ろう学校の音楽室から～聞こえない・聞こえにくい子ども達も、音楽を楽しめる」 [https://4hearts.net/deaf\\_category/3016/](https://4hearts.net/deaf_category/3016/)